

法令報告に至らなかった事故トラブル事例 阪大RCNP 2012-2016

鈴木 智和¹、吉村 崇²、高橋 賢臣³
福田 光宏¹、嶋 達志¹、依田 哲彦¹

¹大阪大学 核物理研究センター

²大阪大学 ラジオアイソトープ総合センター

³大阪大学 安全衛生管理部

日本保健物理学会第50回研究発表会
日本放射線安全管理学会第16回学術大会 合同大会
平成29年6月28日(水)、29日(木)、30日(金) ホルトホール大分

背景

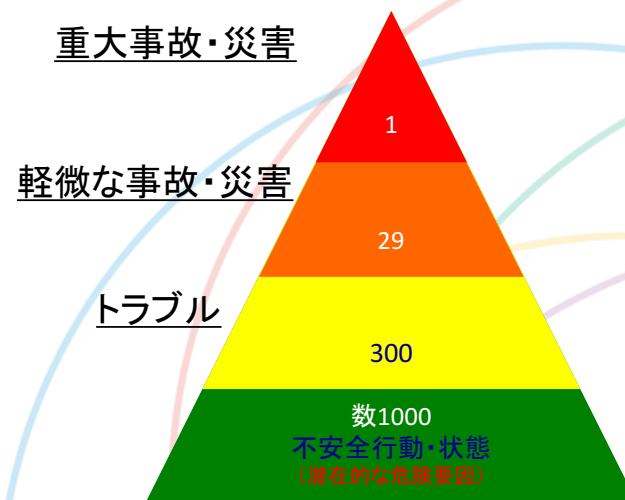
放射性同位元素の規制に関する法律（放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律）の改正

- 自主的・継続的な安全性の向上
 - 安全文化醸成・品質保証制度がベース
 - 自らの活動を評価する組織を位置づけ、定期的な評価を行い、その結果を踏まえて取組の改善を行う (PDCAサイクルのようなもの)
 - シンポジウム (S3): 放射線防護文化と安全文化 —放射線施設における安全文化醸成活動にかかる現状と課題

小さなトラブルの情報を共有し、トラブルを減らす努力をすることは最も効果的な安全文化醸成活動のひとつ
⇒ 情報が公開されるのは「重大事故」だけ

学会の安全活動のひとつとして、小さな事故トラブルの情報交換を行ってはどうか？

⇒ 過去5年程度で、RCNPで起きた小さな事故トラブルを報告します！



法令報告対象事象とは

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則 (昭和35年9月30日総理府令第56号)

第39条【報告の徴収】 許可届出使用者、表示付認証機器届出使用者、届出販売業者、届出賃貸業者若しくは許可廃棄業者又はこれらの者から運搬を委託された者は、次のいずれかに該当するときは、その旨を直ちに、その状況及びそれに対する処置を10日以内に原子力規制委員会に報告しなければならない。

- 一 放射性同位元素の盗取又は所在不明が生じたとき。
- 二 気体状の放射性同位元素等を排気設備において浄化し、又は排気することによつて廃棄した場合において、第19条第1項第2号の濃度限度又は線量限度を超えたとき。
- 三 液体状の放射性同位元素等を排水設備において浄化し、又は排水することによつて廃棄した場合において、第19条第1項第5号の濃度限度又は線量限度を超えたとき。
- 四 放射性同位元素等が管理区域外で漏えいしたとき（第15条第2項の規定により管理区域の外において密封されていない放射性同位元素の使用をした場合を除く。）。
- 五 放射性同位元素等が管理区域内で漏えいしたとき。ただし、次のいずれかに該当するときは（漏えいした物が管理区域外に広がったときを除く。）を除く。
 - イ 漏えいした液体状の放射性同位元素等が当該漏えいに係る設備の周辺部に設置された漏えいの拡大を防止するための堰の外に拡大しなかつたとき。
 - ロ 気体状の放射性同位元素等が漏えいした場合において、空气中濃度限度を超えるおそれがないとき。
- 六 第14条の7第1項第3号の線量限度を超え、又は超えるおそれがあるとき。
- 七 放射性同位元素等の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱いにおける計画外の被ばくがあつたときであつて、当該被ばくに係る実効線量が放射線業務従事者（廃棄に従事する者を含む。以下この項において同じ。）にあつては5ミリシーベルト、放射線業務従事者以外の者にあつては0.5ミリシーベルトを超え、又は超えるおそれがあるとき。
- 八 放射線業務従事者について実効線量限度若しくは等価線量限度を超え、又は超えるおそれのある被ばくがあつたとき。
- 九 第14条の12第2号の線量限度を超えるおそれがあるとき。

非公開スライド

事故・トラブルに関するスライドは非公開とします。学術的な利用をされ、スライドを希望される方はご連絡ください。

最後に

- 事故トラブルを多く発見することは
 - 事故トラブルが多くて危険な研究所？
 - 事故トラブルを拾う能力がある研究所？
- 想定外の事故はいきなり起きる？
 - きっとその予兆になる小さなトラブルが起きていた。それは他の研究所かもしれない。
- 放射線安全管理学会として事故トラブル情報を共有することで、「想定外」は減らせるはず！教育訓練の材料になる。

法令報告に至らなかった事故トラブル事例 【事業所名】 【期間】

積極的に小さなトラブルの発信をしましょう！

平成29年5月23日第9回原子力規制委員会臨時会議(原子力規制委員会と公益社団法人日本アイソトープ協会との意見交換会)における伴信彦委員のご発言より

Youtube映像
49:12～

法令上の違反に当たらないような、その小さなトラブルとかですね、そういったものの情報をこう集約して届けていただくようなことができるかどうか。たとえばその、原子力の方に関してはですね、ニューシアというまあそういうようなシステムがございますので、もしアイソトープ協会の方ですね、そういうものをこう積極的に集めて、まあ小さなトラブルであったり、逆に良好事例であったり、そういったものをこう何かこちらに届けていただくことはできますでしょうか？